

# 福島第一原子力発電所3号機原子炉建屋 オペレーティングフロア上部瓦礫撤去後の建屋躯体状況調査

< 参考配布 >  
平成25年12月18日  
東京電力株式会社

## 【目的】

- ・ 3号機原子炉建屋および燃料取り出し用カバー架構については、実施計画で耐震性評価結果を報告し、本年8月に認可を受領した。
- ・ 耐震性評価時点では、オペレーティングフロア上部に瓦礫があり調査が出来なかったが、大型瓦礫撤去が完了し、除染作業の進捗に伴い調査が可能となったことから、建屋状況調査を行う。
- ・ 調査結果より耐震性評価に影響を及ぼす新たな損傷が判明した場合は、耐震性の追加評価を実施する。

## 【調査期間】

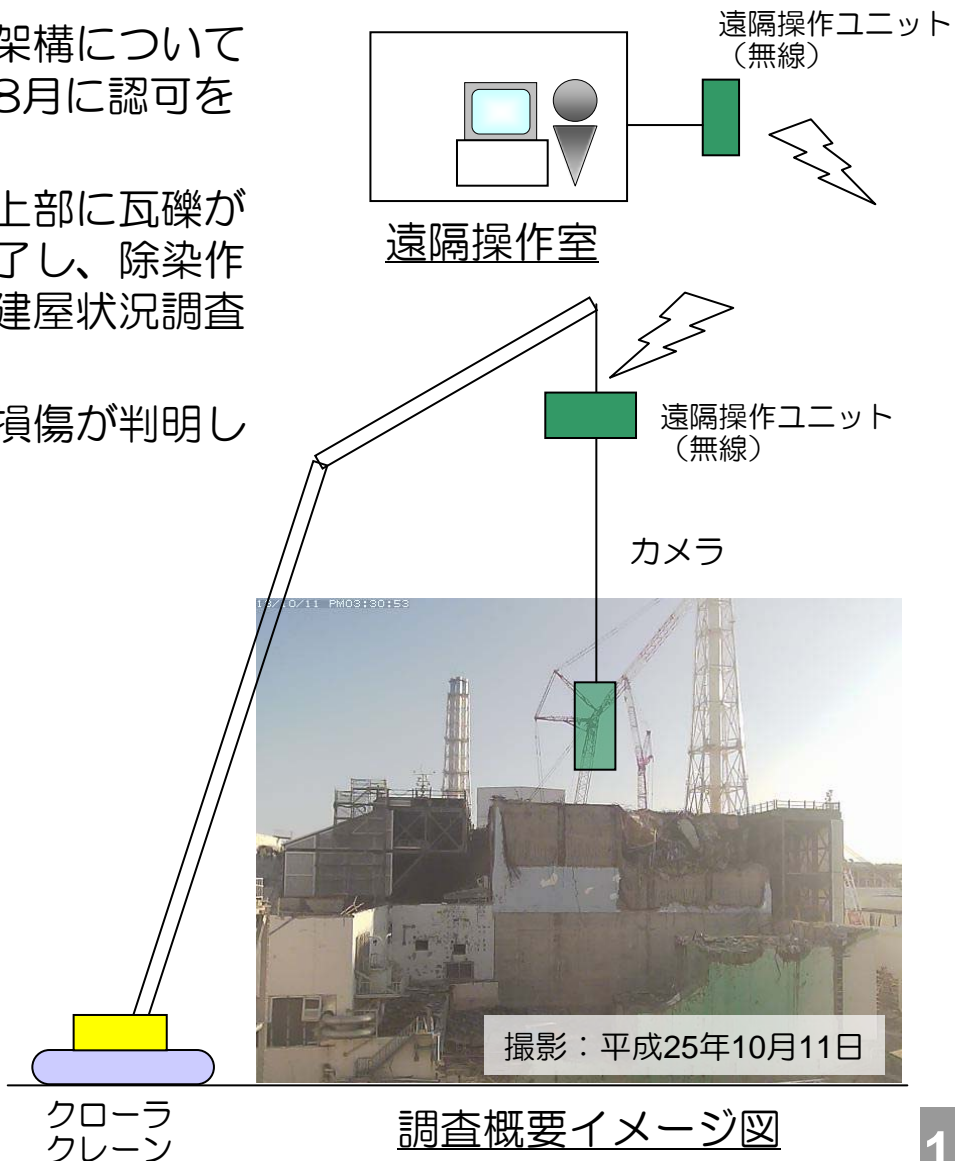
平成25年12月中旬～平成26年1月下旬予定

※第一回調査は12月19日を予定

※今後、現地作業進捗に応じて随時実施予定

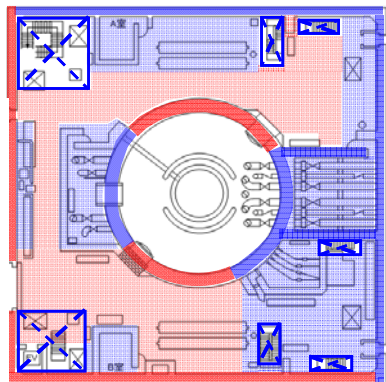
## 【調査概要】

- ・ クローラクレーンからカメラを吊り下げ、オペレーティングフロア床および各階の機器ハッチ周辺を撮影予定

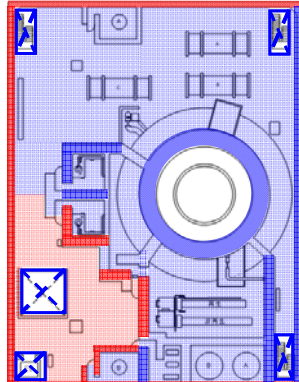


## 【調査予定範囲イメージ】

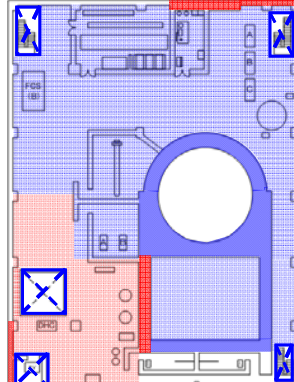
- 2・3・4階南西部は、機器ハッチからのカメラ撮影により調査予定
- 5階は、除染作業の進捗に応じて床スラブ状況調査を順次実施予定
- 1階については、震災後に撮影した映像等による調査を予定



【1階平面】

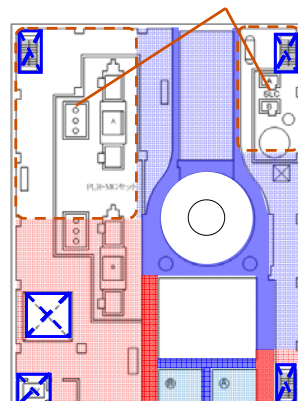


【2階平面】

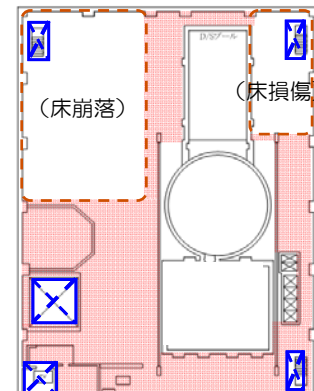


【3階平面】

5階床の瓦礫堆積により  
損傷評価ができない可能性あり



【4階平面】



【5階平面】

【凡例】

- : 開口部
- : 調査予定箇所
- : 推定箇所